

ソノひびヨリ

2025年 第十七号 <早夏>

発行元
たびたびまたたびプロジェクト
〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目18-27
Tel.06-6351-3474 Fax 06-6351-9364
発行日 2021年1月5日（季刊）

企画 たびたびまたたびプロジェクト編集委員会
制作 株式会社アートグローブバルファン

WEB <https://sonohibiyori.net/>
<https://www.instagram.com/sonohibiyori>
<https://twitter.com/sonohibiyori>



旅を始める前に 『二六〇〇年を遡る時空の旅の終わりが、始まりだった』

「写して候・寄って候」 天皇御陵御破の旅 追号天皇編

「合」肴・いちごうひとな 「二六献目から一三三献目まで

ソノひびヨリ 奈良県五條市 『吉野川の空に希望の鯉のほり』

プチモブ動物探訪行ってみた2000 アドベンチャーワールド「白浜からパンダがいなくなる！」

昭和ガラクタノスタルジー「家のじゃまけモノ」3

ソノひびヨリ 大阪府河内長野市 『大型連休、人混みを避け静かな花の園へ』

ソノひびヨリ

自らを由とする
ひとたちへ贈る
極私的な旅の記

旅を始める前に

第十四回

二六〇〇年を

廻る時空の旅の終わりが、
始まりだった。

赤木翁にお願いしていた『還暦前、写真家の「写して候・寄って候」天皇御陵踏破の旅』の旅を終えての寄稿だが、編集部では一ヶ月待ち、二ヶ月待ち、三ヶ月が過ぎた。痺れを切らした小生は、翁に電話連絡を入れた、すると「もう、歳だから長文を書くのが煩わしい。だから対談が何かで誰かに書き起こして貰えないのかな」と少し半ギレ気味に言われた。

ここで言い返しても始まらない「おっしゃる通りです、では、対談形式でまとめましょうね。」と優しく慈愛に満ち溢れた笑顔で受諾した。後日、一席を設けることにした。

時空を越えて、今現在も繋がる大和心

編集 ご無沙汰しています、元氣そうでなりよりです。天皇陵踏破、おめでとうございます！ まずは踏破を祝って乾杯を。酒をこよなく愛している翁は、今でもよく呑んでいるのですか（笑）？

赤木 家ではまあまあ呑んでいるね、外では昔みたいに記憶を無くしたりする飲み方はしなくなつたよ（苦笑）。

赤木 次に思い出すのが、奈良県桜井市にある「飛鳥後期」の天皇「三四代・舒明天皇」の「押坂内陵」だね。これも坂道がきつかったんだ、バス停の「忍坂」から拝所へ向かう道が、その名の通り忍びながら登る坂なんだよ。御陵拝所が山の中腹に張り付くような場所にあるしね。



忍坂を登り切れば、拝所にも石段がまだ続いた「三四代・舒明天皇陵（押坂内陵）」

編集 山城じゃなく山墓がお好きなんですわ（笑）。

赤木 不敬者だな、御陵を墓と呼ぶなんて。まあ、いいよ（笑）。
ただね、この御陵が浮かんだったのは坂だけじゃないんだ、「陵形」が珍しかったからなんだ。「上田下方」と言ってるね、台形状の「方形壇」の上に「八角形」の墳丘をのせている、言わば「上八角下方墳」なんだよ。



この旅はここから始まった「初代・神武天皇陵」

編集 それで思い出したのが企画時の仮タイトル、覚えてますか？ 『還暦前、写真家の「写して候・酔って候」天皇御陵踏破の旅』だったんですよね（笑）。この『酔って候』が嫌だと言って「寄って候」になったんですよ。

赤木 そうだったかな（笑）。

編集 「写して候・酔って候」って良かったんですけどね。司馬遼太郎さん著書、山内容室が主役の『酔って候』から名付けたんですよ。なんだが頑固さが容室公と重なって。昔話はさて置き、本題に入りましょう。あつ、呑むビッチが早いんですよ。

赤木 まず最初に「昭和天皇」までの歴代一二四代の天皇陵を巡り終った感想は？

赤木 宮内庁管轄の一部二府五県に渡る御陵を旅してきたけど、宮内庁の整備は当然なのだけれど、地域の方たちが有志で、毎日、御陵の周りを掃き清めていたりお花を備えたりする姿を見かけるとちょっと感動したね。

赤木 何百年も前の天皇との繋がりを大切にしている、そこには日常があるんだよね、日常が。そんな一場面に出会って、何千年と悠久の流れの中での「一二六代・今上天皇」の令和の御代を生きていると実感できるんだ。過去から今、そして未来へと現在進行形で感じをね。

編集 そんな出会いの中で印象に残った天皇陵をいくつかあげて貰えますか。ベスト3とか言えば「不敬」だと言われそうなので（笑）、幾つでもいいですよ。

赤木 順位を付けるのは確かに「不敬」に当たるね。そうだな「黎明期」から順次挙げると奈良県御所市にある「六代・孝安天皇」の「玉手丘上陵」



立派な造成の「六代・孝安天皇陵」、幕末期に補修されているらしい。



拝所までの参道。この坂に苦しめられた。

編集 その珍しい「上円下方墳」で、国内では何基ほど確認されているのでしょうか？

赤木 御陵としては、近現在の「明治天皇・伏見桃山陵」「大正天皇・多摩陵」「昭和天皇・武蔵野陵」がこの形状で造営されている。あと、「三代・天智天皇」の「御廟野古墳」とこの「押坂内陵」くらいだと思う。
誰が埋葬者が分からない古墳で、確か六例位しか確認されていない、極めて稀な陵墓形状なんだよ。



これが珍しい「上八角下方墳」
寄れば陵形が分からない「三・四代・舒明天皇」

編集 二つの御陵の立地を見たら、集落を見下ろす小山に陵墓がある。まるで守り神のような位置づけに感じますよね。確かに過去と現在が繋がっているような、納得です。
では、その他の御陵で何処がありますか？

赤木 ベタなんだけど、「おっ！」と不敬なことを言ってしまった。
先ほども陵名が出た、近現在の「明治天皇・伏見桃山陵」だな。この御陵は圧巻と言っしかないほどの広さと美しさを兼ね揃えている。
武家から王家に主権を取り戻した、近代日本の

赤木 まあ、お守りのつもりで熊よけの鈴を付けて、出来るだけ音を出して歩いたね。参拝者がいない所では大きな声で「なんだ！この登りは！」
「なんだ！この道は！」と愚痴りながら歩いたよ。たまに人がいて呪すか！いい思い出だね（笑）。今では良い思い出だ。

良い行いが、良い写真と呼ぶのだ。

編集 ここで、やっぱり翁は写真家なので「あつ、これよく撮れたなあ！」と思えるベストショットを教えてくださいますか？ なかつたらいんですけど。



白い静寂の中の「桓武天皇陵」。何も言う事がないほど美しい。

「初代天皇と言っても過言ではないと思う。それほど荘厳に造営されている陵墓だね。とにかく参拝者も多く、ある意味、華やかな開けた御陵と感じました。」



「明治天皇・伏見桃山陵」の参道、これが「大階段」。

編集 私も明治天皇陵には参拝したことがありますが、こそもすごい大階段がありますよね。

赤木 あるある（笑）、途中途中に三回くらい休憩を挟んで登ったことを思い出した。



広々とした空間に威厳まで感じる。

赤木 あるに決まっているだろう！！ 本当に失礼なヤツだ。
そうだな、真つ先に頭に浮ぶのが「五〇代・桓武天皇陵」、夏と冬に二回参拝しているんだけど、雪の御陵の静謐感は格別だった！ ほとんど踏み荒らされていない雪の参道が美しく、白い雪に覆われた玉垣は今も忘れられない。
前日の天気予報で雪が積もることを予測して、酒も吞まずに早寝した甲斐があったよ。朝早く御陵に行っただけでいい写真が撮影できたんだ。

赤木 それと奈良県の明日香村にある「三九代・欽明天皇陵」。この御陵への出発が野暮用で遅くなり、近鉄吉野線「飛鳥」に着いたのが一六時くらいだった。冬の日落ちは早いので、駅から息を切らし早歩きで向かったのよ。本当に時間に焦った（笑）思い出のある御陵なんだ。



ドラマテックな斜光が「欽明天皇陵（檜隈坂合陵）」にあたりだした瞬間。

まだまだある、山上近くの「御陵」

赤木 他にもあるんだよ。「五二代・嵯峨天皇、五六代・清和天皇、九六代・後醍醐天皇」御陵とか。

編集 出てきますね（笑）。では、掻い摘んでお話しください。

赤木 掻い摘んで話すなどと、不敬なヤツだな（笑）。この三つの御陵も山の上であり、とにかくよく歩いた・・・登りも嫌なだけで降りがね、翌日に膝がやられてガクガクするんだよ。それと春から秋にかけての山道は野生動物と遭遇するかもしれないから、神経を研ぎ澄まし気をつけよう。

編集 確かに近年、人里にも野生動物がよく現れていますよね。何か注意していたのですか？



ジグザグのトレイルの「五二代・嵯峨天皇陵」

秘境・難所御陵の「五六代・清和天皇陵」



境内でも、上りだった「九六代・後醍醐天皇陵」。

編集 日落ち時間が迫っているのに、走らなかったんですね。夕方近いから呑んでました？

赤木 呑むわけないだろうが！ もういい！ 話を戻す。駅から七分位で集落に着き、ミカン栽培をしている丘があって、その農道なたいな参道を上って下れば御陵に着いたけど・・・。
光は射してなくベタな風景が広がるだけ。「あゝあ」と思いつつも暫く待つことにしたんだよ、そうすれば雲の下から夕陽が差し込んできたんだ！ 日頃のおこないが良いから褒美が舞い込んだ。

編集 確かに、とぼりが落ちたような暗さですね。この写真を見たら別日に再訪になりますよね。



到着した時の「欽明天皇陵（檜隈坂合陵）」

赤木 そうなんだ。もう一度言うが、日頃のおこないが良いから次の写真が撮れたんだよ！

編集・・・

赤木 君は絶対に褒めないな・・・



その後、日が当たり出した。



百舌鳥・古市古墳群 勝手に世界遺産登録記念

還暦前、写真家の「写して候・寄って候」 天皇御陵踏破の旅

追号天皇 編 写真取材 赤木 賢

五十路もなかばの頃、ふと考えた。日本国とは何なのか、日本人とは何なのか。その答えを探す為に、2600年を遡る時空の旅へ出た。イデオロギーなど関係無い、ただ、今そこに残る時間の集積を、残してみたい。



孫ちゃんと三人での撮影をお願いして撮った最高のワンショット！



玄関で頂いた、「ごろごろ水」。

赤木

最後は御陵と言うんじゃない、印象に残った御陵で紹介した「六代・孝安天皇陵」訪問の時に会った近所の家族のカット。この時、水（ペットボトル）を飲み切ってしまへ口へ口の状態だったところ、同年代の女性の方に声をかけていただきお水を飲ませてもらった。酒ではないぞ！「ごろごろ水」という名水を。

編集

親切にさせていただいたんですね（笑）。で、珍しく人絡みの一枚なんですね。人を入れたカットを、面倒くさがりの翁が撮るなんて驚きですよ（笑）。

赤木

別に面倒くさいわけじゃないの、ただ、声を掛けたり断ったりするのが煩わしいだけなんだ。

編集

それを「面倒くさがり」と言っただけで・・・

過去から続く時空の旅は、未来永劫に続く

編集

長い時間、いろいろとお聞きできましたが、そろそろ締めましょうか。

赤木

まだ話すことが沢山ある、その上、まだまだ呑み足らんからもう少し話をしよう。

編集

いえいえ、もうこの辺で終わらさなければスルズルと行きそうで。最後に、歴代天皇陵の全撮影を終え（追尊天皇、追号天皇の御陵も訪問済み）、翁の次のテーマとかあるのでしょうか？

赤木

なんだか、強引に閉めようとしているな、まあいい。五十台の半ばに伊勢神宮関係の仕事をしてから興味を持ち始めて天皇陵を巡り出した。最初は名前すら知らない天皇がおられた、読み方も分からず右往左往していたのが昨日のことのように思う。

今は少しずつだけ理解していつてつものりなので、再度巡りもつと深く「天皇」の在り方を理解していきたいと考えているんだよ。それが日本という国をもつと知ることだと思える、まだまだ、時空の旅は未来に続くのだから。この肉体が減びても、恒久的なものとして残り続けるだろう。

二六〇〇年を遡る時空の旅の終わりが、始まりだった。



東京都八王子市「武蔵陵墓」御要地



①「新町通り」に面した御陵入口。



③ 綺麗に整備されている。



② いつもの宮内庁さんだ（笑）。

「後光太上天皇」は世襲親王家・伏見宮家、初代「伏見宮崇仁親王」の子として生まれる。既に嫡男がいたため若年期に出家するはずだったが、とりやめとなった。時は流れ、一四一年（応永十八年）四〇歳にしてようやく元服し「貞成」と名乗った。その五年後、一四一六年（応永二十三年）に父「崇仁親王」が薨去、その翌年には伏見宮家を継いだ兄「治仁王」も中風を発病し急死した。その事で「貞成王」が三代目「伏見宮家」を継ぐこととなった。

一四一五年（応永三年）、北朝系の「二〇一代・称光天皇」の皇太子「小川宮」が薨去する、同系統の「貞成王」は親王宣下を受け、五四歳で「貞成親王」となる。また、病弱な「称光天皇」に継嗣がないため、「貞成親王」とその子「彦仁王」が皇儲の候補となった。院政を敷いていた「後小松院（二〇〇代・後小松天皇）」の勅使により「彦仁王」を皇位継承者とするが、「貞成親王」に出家を命じ難儀することになる。「称光天皇」が一四一八年（正長元年）崩御、親王宣下も立太子も経ずに「彦仁王」が践祚し「二〇二代・後花園天皇」に即位する。その後、実子の即位を見届けた「貞成親王」は八五歳にして薨去、その後「後光太上天皇」と追号された。

所在地 伏見松林院陵 京都府京都市伏見区新町五三三
最寄駅 京阪本線「中書島」下車、約六〇〇m、徒歩約八分。

後崇光（ごすこう）太上天皇 御名 伏見宮貞成親王
生没年 西暦一三七二年（応安五年）～一四五六年（康正二年）
時代 室町時代 続柄 後花園天皇（子） 陵形 不明



① 向かって左が「鶴塚陵墓参考地」。右側は「後高倉院」の皇女「尊称皇后利子内親王」が候補者になっている。



② 閑静な住宅街を抜けると、仲恭天皇の「九條陵」がある丘だ。
③ 石段を上り詰めれば、すぐ右手に「鶴塚陵墓参考地」があった。



後高倉院（ごたかくらいん）陵 御名 守貞親王 行助入道親王
生没年 西暦一三三九年（治承三年）～一三三六年（貞応二年）
時代 平安から鎌倉時代 続柄 高倉天皇（父）後堀河天皇（子） 陵形 不明

所在地 鶴塚陵墓参考地 京都府京都市東山区本町一五丁目
最寄駅 京阪本線「鳥羽街道」下車、約七〇〇m、徒歩約二分。

追号天皇とは、追尊天皇と同じく生前に天皇として即位しなかった親王などに、死後贈られる天皇の称号。ただ、追号は、諡の一形態に属しているが、正式な諡号ではないとされている。

その「後高倉院（守貞親王）」は、「八〇代・高倉天皇」の第二皇子として生まれる。一二二二年（承久三年）の「承久の乱」の混乱により、「守貞親王（行助入道親王）」に皇嗣が回ってきたのだが、親王は既に出家していたため即位できず、その子である「茂仁王」を即位させた。これにて、一〇歳の幼き天皇「八六代・後堀河天皇」が誕生したのだ。

同時に幼き天皇を補佐するため、「守貞親王」は天皇の父として「治天の君」となり、皇位を継ぎ、そして「太上法皇（出家していたため太上天皇ではなく法皇した）」として院政を行った。だが、院政を開始してわずか二年足らずで崩御した。

その陵墓は分かっていない、京都市東山区本町にある「鶴塚陵墓参考地」の被葬者候補が「後高倉院（守貞親王）」と言われている。



④ 昭和三〇年代に都市計画により移葬され、この場所にきたらしい。



④ 白砂が目に入るほど美しい。ただ、この御陵の陵形が掴めない・・・。



あわす肴 つぶ貝お造り 九五〇円

石川能登と言えは、やはり海産物。そこで今宵の「千枚田」の酒の肴は「つぶ貝お造り」！しばらく待つと、皿の中には小粒ながら「つぶ貝」三個分の切り身が登場。「つぶ貝」は小粒がいい、大味ではなく優しい甘味と磯の風味をより楽しめるからだ。食感ほろりとした口どけが、ねっとり柔らかく食べやすい。「ウロ」部分の苦味が日本酒に合う！さすがは大将、丁寧に処理した内臓部分、安心して食べることができる(笑)。甘めの九州醤油に食用菊を散らせば、彩華やかな酒の肴になる、食用菊のほろ苦さとつぶ貝の甘さが最高のアンサンブル。海の幸、陸の幸に感謝し、能登の復興を願いつつ今宵の一献も替わっていく。

本日は「酒のムラタ屋」で、まだまだ復興に程遠い能登のお酒で一献です。いただくお酒は「清水酒造店」さんの「能登登純米酒 千枚田」。その名の通り世界農業遺産に認定されている「千枚田」、そこで作られたお米を使用して醸造されている。醸造アルコールをいっさい添加していない純米酒。そのお味は、濃厚なお米のコクを感じさせ、喉越しスッキリ、少し苦味もある昔ながらの日本酒。常温では香りが立ち、少し酸味の効いた爽やかな口当たりだ。ぬる燗にすると、香りが強くなる(嫌な香り立ちじゃない)、旨味の幅が広がるお酒です。温めても喉越しの良さは変わらない、ぬる燗向きの好きなお酒だ。



酒/能登登 純米酒 千枚田 (石川県)
肴/つぶ貝お造り

清水酒造店
能登登 純米酒 千枚田
原料米 国産米
精米歩合 六〇%
日本酒度 十四
酸度 一・五
アルコール分 二五・二六%
産地 石川県野々市市清金

石川県
野々市市



本日、一献の酒場は酒のムラタ屋

酒/来福 純米吟醸 超辛口+18 (茨城県)
肴/カツオわら焼きタタキ

来福酒造
来福 純米吟醸 超辛口+18
原料米 国産米
精米歩合 五五%
日本酒度 十一・八
酸度 不明
アルコール分 一七%
産地 茨城県筑西市村田

茨城県
筑西市



堺駅南出口を出ればすぐの「魚屋Fish」



あわす肴 カツオわら焼きタタキ 九〇〇円

合わす肴は当然！魚屋さんだから魚です。その中でも「カツオわら焼きタタキ」！この「わら焼き」で中々ないですね、多くのお店はガスグリルで焼いているので・・・待つこと暫し、目の前にサーブされた「カツオわら焼きタタキ」、ちよつと小ぶりで残念だけど「わら焼き」の香ばしい香りが食欲をそそる。本日にストイックな「カツオのタタキ」だ、ツマや薬味がなく、タタキだけがお皿に乗っている！ある意味、さすがは魚屋さんだと感心です。鮮度の高い魚一本で勝負する心意気か！まず一枚口に掘り込むと鼻から抜ける香ばしい香り、広がるカツオの旨味、あつという間に胃に落ちていく、次に一枚掴みて贅沢に口に掘り込む。ああ！もう、最高の時間です！その魚の旨みを飲み干す。キレのいい辛口のお酒を一献、良い昼呑みの一時だ。



酒は日本酒、四季など関係なく燗酒一筋。真夏に汗かき呑むぬる燗、真冬に心を解かす熱燗を。一献一合、酒場の隅で旅路を思う、一合一肴の旅に出る。暖簾をくぐり席に着く、今日の品書き何だろう、それが本日の目的地。

一肴



ITIGOU HITONA

日本酒・肴 紀行

本日の一献は、宅飲み！いただくお酒は、島根県仁多郡奥出雲町に蔵を構える「醸上清酒」さん。ここは「七二二年から奥出雲の地で約三〇〇年の歴史ある蔵元なのです。そして「泡無酵母」発祥の地として知られている。その「泡無酵母」とは全国の蔵元の半数以上が使用する酵母で、昭和三七年にこの酒蔵で発見されたんだそうです。ある日、酒樽を見れば「普通なら酒樽いっぱいには真っ白い泡があるはずなのに、たまにそれがない樽がある」と、これが「泡無酵母」の始まりとなったのです。そんな酵母で醸造された「吟醸七冠馬」、そのお味は！醸造アルコール感がなく、さらに肴を邪魔しないお酒になった。料理の邪魔にすつきりとした後味です。燗で頂けば、醸造アルコール感がなくなり、さらに肴を邪魔しないお酒になった。料理の邪魔にならない酒を目指す「醸上清酒」さん、良い仕事してますね。これから醸造アルコールを使ったお酒もいろいろ試してみます。

酒/吟醸 七冠馬 (島根県)
肴/菜の花とホタルイカの辛子みそ

一六献目
醸上清酒合名会社
吟醸 七冠馬
原料米 山田錦 精米歩合 五〇%
日本酒度 十五 酸度 不明 一・六
アルコール分 一六%
産地 島根県仁多郡奥出雲町

島根県
仁多郡



あわす肴 菜の花とホタルイカの辛子みそ

春到来！そんな肴を食べたくなり買い出しへ。まず魚屋で富山産「ホタルイカ・税込四五〇円」、無人販売所で地産物の「菜の花・二五〇円」を購入。

「菜の花」を沸騰したお湯に約一分浸かっていたとき、冷水で締め水切り。その間に「ホタルイカ」の目玉を取り、「辛子みそ」を作り出す。「お味噌」に「砂糖」「お酢」、そして「練りカラシ」を好みの量をぶちこんで！あとは混ぜるだけ。調理時間、〇分ほどで完成、春を感じる酒の肴が！さあ、実食！「菜の花」のほろ苦さ、「ホタルイカ」の旨さに少しパンチの効いた「辛子みそ」。酒の肴にうってつけ、自前自費し本日の昼呑みを楽しむのでした。



酒 / 特別純米 大雪乃蔵 (北海道)
肴 / 竹の子煮

九献目

合同酒精旭川工場
特別純米 大雪乃蔵
原料米 道産米
精米歩合 五五％
日本酒度 十二
酸度 不明 一、四
アルコール分 一五・二六％
産地 北海道旭川市南四条通

北海道
旭川市



お土産にいただいた北海道のお酒で、本日は家呑みで二献です。北海道といえば「米・水・気温」酒造りの三大要素に恵まれ、「北の灘」と称されるほど酒蔵も多い所なのに初めての紹介です（びっくりしています！）。その酒蔵は、北海道の地焼酎として紫蘇焼酎「鍛高譚（たんだかたん）」を全国にヒットさせた超大手「合同酒精（オエノングループ）」さんの「特別純米大雪乃蔵」です。

北海道産米を一〇〇％使用した、キャッチフレーズは「さらさらと辛麗」なお酒。まず、呑んで感じるのが口当たり滑らかな事です。米の旨みがしっかりと感じられ、低温長期発酵だから雑味のないクリア感がすごい、それに丁度良い辛さのパンチがある。だから食事との相性も良さそう、うまうま燗酒を食中酒です。

あわす肴
竹の子煮

「さらさらと辛麗」なお酒に合わせる肴は、春の麗（ウララ）〜を感じさせてくれる「竹の子」です。アク抜きを済ませて野菜室で寝かしていた「竹の子」を一番出しと、田舎の甘口（濃口）醤油で約一〇分ほど煮込めば出来上がり！付け合わせには、やはり田舎の甘口醤油で炊いた「椎茸」と「木の芽」を添えれば、飲み屋に負けず劣らずの肴が完成です（笑）。甘口（濃口）醤油で炊いているので色目はちよいと黄だが、味は薄味でお酒の邪魔にならない。腰の部分の食感と少しの苦味を噛み締めて、クリアなお酒を流し込めば自宅でも至福の時間を楽しめる。



酒 / 鯉川 純米 (山形県)
肴 / 菊菜としらすのだし巻き

一三献目

鯉川酒造
鯉川 純米
原料米 国産米
精米歩合 六〇％
日本酒度 十六
酸度 一、六
アルコール分 一五・三％
産地 山形県東田川郡庄内町



本日、一献の酒場は酒のムラタ屋

本日は「酒のムラタ屋」で、山形県「鯉川酒造」さんのお酒で一献。この酒蔵さん、燗酒好きには嬉しい「純米燗酒」で言葉をよく使っているのです。意味はそのまま「燗酒にしても美味しい純米酒」を造ることなのです。今宵は、そんな酒蔵のスタンダード銘柄の「鯉川純米」をいただきます。

「鯉川純米」の原料米はすべて山形県産米（一〇〇％）、醸造は低温発酵で濾過を出来るだけ抑え、じっくりタンクで熟成させているのです。では「ぬる燗」でいただきます。その風味は、穏やかでほのかな香りに続き、お米の旨みがしっかりと伝わってくる！軽い熟成感も感じ、酸味も程よく飲み飽きしない日常酒だ。なんだか、懐かしい気持ちになるお酒ですね、晩酌にはもってこいのオールマイティーな純米酒です。「鯉川酒造」さん、本当に燗酒にしても美味しい「純米酒」ですね（喜）。



あわす肴
菊菜としらすのだし巻き 五五〇円

オールマイティーな純米酒には、オールマイティーな食材！何にでも合い、どんな調理でも美味しい卵料理「菊菜としらすのだし巻き」を選択です。だし巻きだけでも肴として贅沢なのに、中に菊菜が巻かれている。その上、しらすと大根おろしが添えられているのです。バラバラにつまめば、四種の肴を楽しむことができますのすよ（笑）。出汁のほっこりした甘みに、菊菜の香りとほのかな苦味が「純米燗酒」と良く合う。こんなオールマイティーな組み合わせなら、毎日でも飽きがこないです！



酒 / 桃川 純米大吟醸酒 磨き五割 (青森県)
肴 / 京揚げ焼き

三献目

桃川酒造
桃川 純米大吟醸酒 磨き五割
原料米 国産米
精米歩合 五〇％
日本酒度 十〇
酸度 一、四
アルコール分 一五・一六％
産地 青森県上北郡おいらせ町



あわす肴 京揚げ焼き

コスバ最高の「純米大吟醸酒」に合わせる肴は！早く呑みたいため、あまりにも慌てて帰ってきたので買うのを忘れてしまった・・・仕方なく冷蔵庫を物色すると、時短調理な食材があるではないか、「京揚げ」があった。グリルでゆっくり焼き上げ、刻みネギを振りかければ終わり。調理時間約一〇分で立派なお酒の肴の完成です。ちょいと贅沢な「純米大吟醸酒」の香りを楽しむながら、庶民の見方「薄揚げ」を頂く。だが、この「薄揚げ」は、ただの庶民ではありません「京の都」の香りをはんと感じさせてくれる肴なのだ。





第23回 「白浜からパンダがいなくなる！」 アドベンチャーワールド（和歌山県南紀白浜）

住 所 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田2399番地
開園時刻 午前10時～午後5時（夜間特別営業・午後8時）
（繁忙期は、営業時間を変更する場合があります。）
敷地面積 約80万平方メートル
休園日 毎週水曜日（祝祭日などや繁忙期には、休日を変更する場合があります。）
入園料 大人（18歳以上） 5300円 シニア（65歳以上） 4800円
中人（12～17歳） 4300円 小人（4～11歳） 3300円
駐車料 1200円

「2025年4月23日、衝撃的なニュースが流れた！！」

4月23日お昼過ぎのFMラジオから突然「関西からパンダがいなくなる・・・」、終わり部分が聞こえなかったので仕事そっちのけでネット検索すると事実だった！（絶句）。それも6月末までには返還予定。翌日の朝刊には「白浜パンダ全4頭返還へ」「関西ゼロ、東京のみに」の見出しが踊っていた。事実として受け止めるしかないのか（頭が真っ白です・・・）。

アドベンチャーワールドで生まれ暮らしているパンダは、1994年から日中両国で進められてきた「パンダ保護共同プロジェクト」によるもので2025年8月が契約満了と決まっていたそうです！ だから国内の全パンダは中国からの貸し出しで、日本生まれのパンダも中国に所有権があるみたいです・・・。ちなみに貸し出し料金が1頭、7000万円から1億4000万円だそうです。

国内で10頭も生み育てたビックママこと「良浜」は24歳、もうすぐ高齢期に差し掛かるので、医療体制が整っている中国に帰るのもわかるけど。日本で生まれ育っている「結浜、彩浜、楓浜」の1頭でも残って欲しいですね。

「おまけに来年以降、日本からパンダがいなくなるかもしれない・・・。」

そして、よくよく読んでみると来年には上野動物園の「シャオシャオ、レイレイ」も期限が切れ返還予定～！！これが現実となれば、日本からパンダがいなくなる・・・。なんとかならないのでしょうか！？ 黒柳徹子さん！ お願いしますよ。政治的に政治家同士の交渉が難しいなら、民間外交の枠でなんとか新たなパンダを呼んできてください。本当に、本当にお願いします。

それと、もう一つ心配なのが基幹産業が観光の白浜町です。観光コンテンツとしては、日本最古三大温泉の一つ「白浜温泉」があり、夏には海水浴で有名な白砂のビーチ「白良浜」があります。でも、この2つは白浜近郊の関西圏からの観光客が多く（昨年にはインバウンドも回復してきましたが）、首都圏やその他地域からの観光流入の目玉はやはり「パンダ」なのです。「パンダのまち」として地域活性化してきた白浜町、この困難を乗り越えて「パンダのまち」としてあり続けてください。パンダファンの一人として、微力ながら応援しています。



酒 / 神亀 手造り純米酒（埼玉県）
肴 / イカと木耳と加賀胡瓜炒め

三献目

神亀酒造
神亀 手造り純米酒
原料米 国産米
精米歩合 六〇％
日本酒度 十六
酸度 一・七
アルコール分 一五・五％
産地 埼玉県蓮田市馬込

埼玉県
蓮田市

酒のムラタ屋で一献。

本日は「酒のムラタ屋」で、物資不足の終戦後に初めて、全ての生産を純米酒として醸造した酒蔵「神亀酒造」さん、その看板商品の「神亀 手造り純米酒」で一献。今現在も純米酒 筋！ 生産する全てが「純米酒」と超うこだわりの酒蔵さんだ！ その上、熟成好きにはたまらない、最低でも二年間熟成させてくれている。程よい熟成期間を持つことで、「神亀酒造」さんが目指す「口にしたときやわらかく、最後にすつとキレがよく」が具現化されている。濃醇な旨味とホリユーム感が、口に含んだらたちまち「ふわり」と染み込んでくるぞ。キレがあるからいくらでも呑んでしまう、晩酌、食中酒、ぬる燗が最適な旨酒なのです。

あわす肴 イカと木耳と加賀胡瓜炒め 八八〇円

柔らかさとキレを持つ「神亀 手造り純米酒」に合やす肴は、あつさりさわやかな香りの「加賀胡瓜」と濃厚な魚介の旨味が出る「イカ」の炒め物。火を通すと風味が倍増する「加賀胡瓜」、大きめに切られたイカ身、そして、いい食感で歯応えを楽ませてくれる「木耳」、三者三種のうまさがある。炒めると水分が出るのでちょい濃いめ、その味付けが「神亀」と良く合う！ 良い酒と良い肴に出会う夜は良い明日を迎えられる気がするから不思議だ（笑）。

酒 / 玉の井 純米酒（福岡県）
肴 / 新物いわしの炙り

三献目

寒北斗酒造
玉の井 純米酒
原料米 福岡産米
精米歩合 六〇％
日本酒度 十一
酸度 未表示
アルコール分 一四％
産地 福岡県嘉麻市大隈町

福岡県
嘉麻市

本日は「酒のムラタ屋」から、二〇二四年・福岡県酒類鑑評会で県知事賞を受賞した福岡県嘉麻市の「寒北斗酒造」さん、実力派の純米酒「玉の井 純米」で一献です。この酒蔵は、享保二年（一七二九年）の創業で酒所の福岡の中でも老舗の蔵。遠賀川源流の清冽な伏流水を蔵内から汲み上げ仕込み水として、原料米は地元嘉穂町「山田錦会」で栽培した山田錦を使用している。その味わいは、スツキリとした中にしつかり米本来の旨味があり、この旨味が少し雫味を感じ昔ながらの無骨な九州男児っぽい酒になっている。さすがは創業以来、醸し続けている純米酒！地元で愛され続けているのが良く分かる九州の旨酒だ。

あわす肴 新物いわしの炙り 四八〇円

本日は昼食が遅かったため、しっかりとした肴は必要がない。こんな時は「塩豆」でも良いのだけれど、黒板メニユーに良きものが載っていた。この時期・梅雨入り前に水揚げされた新鮮な干物！？こと「新物いわし」。なんで、干物なのに「新物」？とか「新鮮」？と言うんだらうか（まあ、いい・笑）。体長五センチほどの小さなマイワシ、このサイズ感が肴にはちょうど良い。つまみの様に一口でパクツと食べられるサイズだ。味に飽きればレモンを絞れば味変、ボン酢につけても味変、いろんなハリエーションを楽しめる昔ながらの無骨な肴です！

ソノビヨリ

Carp streamers of hope
in the Yoshino River, Ko
2023
May. 4 day

第三六話 奈良県五條市「吉野川の空に希望の鯉のぼり」

「端午の節句」前日、天気は上々也。

二〇二三年三月一日に「新型コロナ対策の代名詞」ともいえるマスクの着用が「任意」になり、人目を憚らず旅に出れる！だが、まだ気を付けなければいけないと、まずは近場に日帰りの旅にした。（掲載が遅くなったのは、シーズナリテイな記事のためこの時期になってしまった・苦笑、ご愛嬌と思いつく旅を楽しんでください。）

薄雲は湧いているが良い天気に恵まれた「端午の節句」前日、南海高野線「橋本」でJR和歌山線に乗り換え「五条」へ向かった。ホームへ降り立つと晴れやかな空と深緑の「金剛山」が心に染みる。窮屈なコロナ対策から解放された喜びが、体の底から湧き出る思いで駅前にある観光案内所に向かった。



ホームより金剛山を仰ぎ見る、晴れ晴れと美しい。

観光案内所で情報を収集、そして昼食のレストランも抑え、「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている「新町通り」へ歩き始める。駅より国道一六八号を目指し国道沿いに進むと、五差路（熊野街道の表示がある）にぶつかり、ここで右折する（ここまで約一〇分ほど）。すると、いかにも老舗風の和菓子屋「きく川」さんを見つけた。端午の節句にちなみ「ちまき」を買いおもうと思っただけ、残念なことに売り切れ（涙）・・・絶望的な気分になったが、

なったが、「柏餅」なら残っているとわれ、気持ちを立て直し購入することにした。すぐにでも食べたいのだが（笑）、「きく川」さんから二分も歩けば「新町通り」の入口に到着だ。この辺りから文化財っぽい建築物が次々と現れてくる。食べたいのを我慢して散策を楽しむことにした。

「新町通り」はホスピタリティーに満ち溢れていた。

「新町通り」入口の左手には、建築年代の判明している民家として日本最古の「栗山家住宅（国の重要文化財）」がある。だけど内部は、非公開なので前へ進んでいきます。

二〇mほど進めば、味のある佇まいの酒蔵らしき「山本家」。間口から除けば、お酒が並んでいたの店内に入ってみた。蔵元さんがいらしたので話を聞くと、創業は宝永七年（一七一〇年）江戸時代中期！約三〇〇年以上続く老舗の蔵元だった。試飲ができたので看板銘柄「松の友・純米大吟醸」をいただく、辛口の中にも米の旨味を感じさせる、無骨だけれど品を感じさせるお酒だ。

散策をスタートしたばかり、帰りにお土産として買うことにした。それに、もう一銘柄、聞いたことのないお酒が！？それが「柿ワイン」！奈良県の主力果実「柿」を原料としたワイン、これは珍しいと思ひやほり婦りに買うことにした。「山本家」さんを出て橋を渡ると前方に「五条市新町まちや館（木村篤太郎生家・旧辻家住宅）」が見えてきました。この「まちや館」は、太平洋戦争敗戦後まもない「第一次・吉田内閣」で司法大臣を務めた「木村篤太郎」の生家を利用した資料館。館内では昔の（昭和初期から中期かな）家具などが残されていて、現在では使われなくなった「へつついさん（竈）」や「井戸」があります。

この時代の民家に珍しく二階があり、急な階段を上がると客間が当時のまま再現されている。もちろん、郷土の偉人「木村篤太郎」の経歴を紹介する展示コーナーもあり、なかなか楽しめる施設です。その上、嬉しいのが無料で見学できることです！親切丁寧なボランティアのお姉さんが色々教えてくれる、興味がなくても立ち寄る価値はありますね。



吉野川、河川敷にたなびく鯉のぼり



さすがは300年の歴史ある酒蔵。その昔は熊野詣や高野参りに電わったのだから。



「五条市新町まちや館」外観



昭和中期の家電。この白黒テレビには覚えがある。



この「柿ワイン」ラベル、ソノビヨリの同氏が学生時代にデザインしたものだった。

無料拝観が多すぎないかい！？ 大丈夫ですか五条市さん。

また通りを進めば、「新町通り」の真ん中辺りには、もう一軒、無料で拝観できるまち屋「五条市まちなみ伝承館」があるんです。ここには駐車場（無料）やキレイな公衆トイレもあるので、散策に疲れたら一休みができますね。この町屋は明治から大正にかけて（どっちなんだろう？）建てられた、実際に人が暮らしていた建物を改修して平成一六年にオープンしたそうです。

館内は低い天井で明治期の町家の建築様式を感じさせる、この日は町家で飾られていた五月人形（鎧兜）が展示していました。それと、歴史好きなら目を引くのが「お祝いのことば」と書かれた「司馬遼太郎」さんのパネルだ。読んでみると、古くから司馬さんと交流があった郷土作家「河村たかし（新十津川物語の著者）」さんに贈った言葉のよう。立ち寄られた時には是非読んでほしい、新町の歴史に親しむキッカケになります。



まちなみのシンボル「五条市まちなみ伝承館」



季節により展示物が変わるみたいです。

しばらく休憩していましたが見学者が増えてきたので、次を目指すことにします。次は新町通り一丁目の西端「寿命川」の辺りに残る五条市の歴史を感じる「遺構遺産」へ。通りを西に向かい歩くと、この町並みに似つかわしくないコンクリートの構造物が見える！近づくと、そこにあったのはブツリと切れた路線の一部分なのです。だけど太平洋戦争の激化により資材不足のため中断を余儀なくされた様です。終戦後工事は再開され五条市内の一部が完成したのだけれども、



何処か上から見られる場所を探したが、「高架橋」より高い建物がないのでこのアングルです。

・、結局は計
画自体が中止になったのです。その路線の一部が遺構として
残されています。

遺構を見終えると昼が過ぎ、そろそろお腹が減ってきた。
まだ早い・・・新町通りから少し(約六分)外れるけど、も
う一つある無料で拝観できる施設があるので行くことにした。

遺構の北端に向かい、

国道の新町三丁目の交
差点を渡れば「奈良家
庭裁判所五條支部」が
見える、その横に目指
す「民俗資料館(長屋
門)」がありました。

この「民俗資料館(長
屋門)」は江戸末期ま
で代官所だった、明治
維新の後に五條県庁に
引き継がれ警察署とし
て活用された。その代
官所の名残の正門「長
屋門」が民俗資料館になっている。



民俗資料館の長屋門。

常設展示には土佐勤王党の吉村寅太郎が参加した「天誅組」
の足取りが詳しく記されている。このことは「倒幕拳兵への
道(仮)」としていつかは書きたいと思って、現在、史跡を
巡っている最中なのでここでは書かない(笑)。
そうこうしている間に、本日のメインイベント「コースラ
ンチ」の予約時間が近づいている、足早に「新町通り」に戻
ることにする。

無料、無料、無料の後ほちよいと贅沢なランチタイム！

「民俗資料館(長屋門)」より「新町通り」に戻り、先ほ
ど訪れた「五條市まちなみ伝承館」の斜め向かい、真っ白な
暖簾が掛かる「五條 源兵衛」さんに到着。

この「源兵衛」さんは「新町通り」の景観に溶け込んだ築
二五〇年の町家を改装したレストランなのです。使用してい
る器類も、この家の蔵から出てきたものを大切に使用してい
るそうです、今流行りの持続可能的コンセプトなのです。

白い暖簾をくぐって、白い玉砂利がひかれていますアプロー
チを進むと趣のある母家に到着。引き戸を開け中に入れば、

ど苦味がなく甘味が美味しい(初めて食べました！)。

真ん中の一品には、地元で四代続くお豆腐屋さんの汲み上
げ湯葉、その下には「わらび、ゼンマイ、・・・」もう一種
を忘れてしまった。春の名残を感じさせる山菜が隠れている、
ここにも色鮮やかなエディブルフラワーのミニ・パンジーが
可愛く添えられている。そして、右手の料理は炊き合わせ、
セリのお浸しを中心に高野豆腐、椎茸、大根だったかな・・・。
すでに、この三品で二〇種類以上の野菜が楽しめている、お
味はもちろん、視覚でも美味しさを感じさせてくれる。一つ難
点だったのは、今日の献立が書かれたお品書きがなかったこと
だ、頼りになるのは記憶のみ。でも安心してください、サーブ
時にはオーナーシェフ中谷さんが一品々々丁寧に説明してくれ
ますよ。(それを書き留めていない私が悪いのです・苦笑)

次に出てきた一品は、私にとって逸品の「焼き筍」。もち
ろん「朝採りの筍」、熱々焼きたての皮を脱がせば、水気が
残る艶々の白い肌から湯気が立つ。春の名残を惜しみつつか
ぶりつく、甘さが口に広がる「苦味・エグ味もなく香ばしさ
が鼻から抜ける。また、この筍の凄いところは、外皮を二・
三枚も剥けば次の皮から食べれるのだ！ 筍好きにとって
は、こんな筍が食べられるなんて本当に贅沢なことなのです。

そして旬料理がもう一品「筍の天ぷら」が登場。これも麗
げな記憶だけれど、確か衣は葛粉だったと・・・(すみませ
ん)。焼き筍より短く太め筍を使用している、料理によつて
形を選んでいることが伝わってきます。個人的ですが、私は
筍の腰の部位が好きなんです、一般的には柔らかい先っぽ好
みの人が多いですね。筍の旨味は、土に埋まっている腰の
部分に凝縮されていると信じて疑わないです。

揚げたての天ぷらをひと盛り、やはり甘味が口内を駆け巡
る。衣も薄めで油濃くなく、筍の味が楽しめる。もうすぐ春
から夏へ移り変わる、筍も来年まで食べられない・・・過ぎ
去る春を惜しみつつ最後のひとかけを涙し類張るのですした。

料理の締め、ご飯ものがテーブルに置かれた、サーブして
くれたのは話し上手な中谷シェフ、おもむろにシェフが『わ
らびご飯です！(笑)』と。どんなものだろうか、器の中を
見てみたら「!？」が浮かぶ・・・。もう一度、お椀の中
身を確認するように見るが、そこには「わらび」の姿がない
？ そんな挙動不審な行動を察知したのか、シェフが『わら
びを探しちゃダメですよ(笑)』。続けて『わらびご飯はお
かわりできるので、是非二膳目は出汁茶漬けで食べて下さね』
とだけ言い残し厨房に消えていった。

「わらび」の謎を解くために注意深く食べてみた、すると
「わらび」のほろ苦い味がするじゃないかい!! ご飯のどの

思った以上に明るい(うまく自然光を取り入れている)。通
されたメインホールは天井が高く広々としていた、町屋にあ
る小上がりを無くし全席・テーブル席にしているからだろう。
無論、履き物を脱いで上がる個室もある、この席も基本テー
ブル席になっている。

案内されたテーブルは、採光がよく取れ料理が映えそうな
良い席に着けた。そして、ここのお昼のメニューは二種類の
コースのみ(この時はです。詳しい情報は確認してください
!)、五條市の旬の野菜を中心にした地元野菜を主役とした
「五條野菜のコース」三五〇円と「大和の恵みの昼コース」
五五〇円。「五條野菜のコース」は収穫に応じて四〇種類
以上の野菜を使用したコース、「大和の恵みの昼コース」は
「五條野菜のコース」をベースにお肉料理が付くコースです。
ちよつと贅沢なお値段だと思うかもしれないけど、安心で新
鮮な朝採りの地野菜がふんだんに食べられる、見た目も美し
い満足できるはず。なんと言っても、日本最古の婦人誌に
取り上げられ、ミシュランガイドにも掲載されたお墨付き！
頼んだのは「五



「新町通り」に似合う真っ白な暖簾。屋号を染め抜きしていないのが粋だ。

農園、植物園が凝縮された箱庭のような料理に感動

期待して持っていた一品目は、三つに仕切られた(一樹が
お椀大)お盆に三品が登場。左手から、大和芋をメインに
したしんじょうのすまし汁。しんじょうの上には色鮮やかな
アスパラの花が添えられている、見た目は菜の花のようだけ
部分は口に入れても「わらび」の風味がするのだ(姿は見当
たらなけれど)・・・。「わらび」の姿がない「炊き込みご
飯」、なんとも不思議だ・・・、ベースト状にした「わらび
」を混ぜて炊いているとしか考えられない(これも聞き忘れ
た・すみません)。摩訶不思議な「わらびご飯」だが、あま
りの美味しさに三膳も頂いてしまった(笑)。この後は、コ
ースの最後お口直しを迎える。

お口直しのデザートは名産の葛を使用したスイーツ「くず
餅」。ここにも地元素材にこだわるシェフの思いを感じさせ
る素材を使っている、葛に浮かんでいるのは今年咲いた桜を
塩漬けにしたのを使っている。最後の最後までシェフの地元
食材への偏愛さを感じさせてくれる料理だった、ちよつと変
態してみている(笑)。

食べ終え総括すれば、これだけの多くの地野菜を食べられ
るのなら三五〇円(当時はです)は、お得感があり過ぎま
す！ お店の空間も素敵だし、シェフ並びにスタッフの丁寧
で暖かなホスピタリティ、五條の魅力を存分に味わえる、
特別なお店に間違いなしです！ 来店するときは必ず予約を、
今回のように上手くいきませんよ(笑)。



これが「わらびご飯」、どこにもわらびがない・・・
シェフおすすめ「わらびご飯の出汁茶漬け」



桃めのデザート、
一口大のくず餅

吉野川は紀ノ川!?! 「グワシ〜!!」・・・
お腹も心も満足して、源兵衛さんを後にして吉野川河川敷
を目指す。毎年この時期には、五條の春の風物詩「吉野川を
泳ぐ鯉のぼり」が群泳を見せ空に棚引いている(毎年四月中
旬から5月末まで吉野川河川敷にて)！ 河川敷で帰る時間
までのんびりとする事にする。

のんびり過ごしている間に、少しこの川の名称の余談を。この川「吉
野川」は、隣の和歌山県に入れば名称が「紀ノ川」に変わるのです、即
ち奈良県内(上流部分)が「吉野川」で和歌山県内(下流部分)を「紀
ノ川」と呼ばれているんです。上流、下流で名称が異なるケースは全国
でも間々あるけど、これってややこしくないか! っていうも思う。河川
法上は、水源から河口まで「紀ノ川」になっているのにな。

まあ、河川は昔から地域と深い関わりがあるので、同じ河川でも地域
によつて名称や愛称が違うみたいです。長野県の日本一の長い川「信濃
川」も上流部分は「千曲川」、近畿の琵琶湖から大阪湾へ流れる「淀川」
は、京都府で「宇治川」、滋賀県になれば「瀬田川」と三回も変名する。
本当にややこしいです。

まあ、そんな事はどうでもいい
か! ゆつたりと鯉のぼりを眺め
ていると、午前中に買った柏餅を
思い出した。端午の節句にはちよ
うどいけり口ケーション、鯉のぼり
の泳ぐ姿を見つつ柏餅を食べるな
んて乙なものだ(わりにお腹がい
っぱいだけど)。

食べ終わるところそろそろ帰る時間
だ、河川敷を歩いて五条駅に向か
うことにしよう。その途中、お土
産のお酒を買うため「山本家」
さんに再訪、忘れるところだった。
帰りもJR和歌山線「五条」から南海高野線「橋本」で乗り換えるル
ート、その乗り換え時間を利用してミニ散策のため駅から出ることにし
た。「橋本」の駅舎を出て直ぐ右手、去年秋に亡くなられた「模図かず
お」先生の「まことちゃん」像が立っている。

なぜ、ここに建てられているのか?
それは、先生が幼少期
から青春時代を五條市で
過ごしていた、隣接する
ここ(和歌山県橋本市)
まで漫画のアイデアを生
み出すための散歩コースだったみたいだ。
そんなご縁でここに「まことちゃん」がい
るのですね(若い方は知らないと思うが)。もう少し時間がある、駅前
の商店街を歩いてみた。

商店街は一〇〇mほどで終わり、その先に「吉野川」が見えた。あつ
！いえいえ、ここは和歌山県内「紀ノ川」でした(笑)。夕暮れ近い河
川敷に下りていけばタイミンク良く、「紀ノ川」に架る橋梁を南海高野
線「こうや号」が高野山へと向かっていった。



和菓子処「千味庵 さく川」さんの柏餅。



小ぶりだけど、
朝採り筍が2本も〜。



筍の天ぷら、そのままでも美味しい、薬味を付けても美味しい。



果実を使ったお酢のジュース



とにかく美しい。和食が世界文化遺産になるのが分かる！



天井から光を取り入れるリノベーションがされ、心地よい空間を演出していた。

第58回 全国高校野球選手権大会
阪神甲子園球場キーホルダー



ハチ北高原風鈴付き



国立公園 六甲山・表



国立公園 六甲山・裏



昭和ガラクタノスタルジー 家のじゃまけモノ

天袋、家の掃除をしてみれば 出るは出るは、あの日のお宝？
誰が行ったか知らないが 旅の土産のキーホルダー
叱られて、取り上げられたプラモデル
勉強用、買って使わずヒーローノート
誰が聴いたかビックスター昭和歌謡のSP盤
娯楽といえばプロ野球 知らぬ球団、バッヂをつけて草野球
あの頃、捨てずに残したお宝も 今じゃ「家のじゃまけモノ」

兵庫編

まだあった！？ 自分で買った記念キーホルダーが・・・。

「いやげ物」と言いつつも、まだあったのです自分で買ったのが。それが「第58回 全国高校野球選手権大会記念キーホルダー」。言い訳すると、あの頃の少年たちは、高校野球熱が高かった。週刊少年チャビオンでは大人気の長編野球漫画「ドカベン」が連載していた事もあり、春夏休みは高校野球が話題が中心だった。だから小学校高学年の頃には、春・夏毎回一度は甲子園に観戦に行っていた。どこの高校を応援するでもなく、観戦をしていた（苦笑）。

その時の記念に買った物だと記憶している、なんと言ってもこの年の決勝は「PL学園（大阪）vs桜美林高校（西東京）」。

その結末は9回裏同点、初出場の桜美林が劇的なサヨナラ優勝だったことも大きいはずだ。
実はキーホルダーだけでなく、違う大会にはマスコットバットやバッジも買っている・・・。その癖が抜けずに平成時代の第88回大会には、高校名が印刷された記念ボールも買っている。この年は沖縄県南西諸島・石垣市から初出場した「八重山商工高校」を応援に行った時のだ、それも会社をサボって（笑）。

旅の土産のキーホルダー



東京・上野動物園パンダ来日記念のキーホルダー



昭和天皇御在位50年記念・表



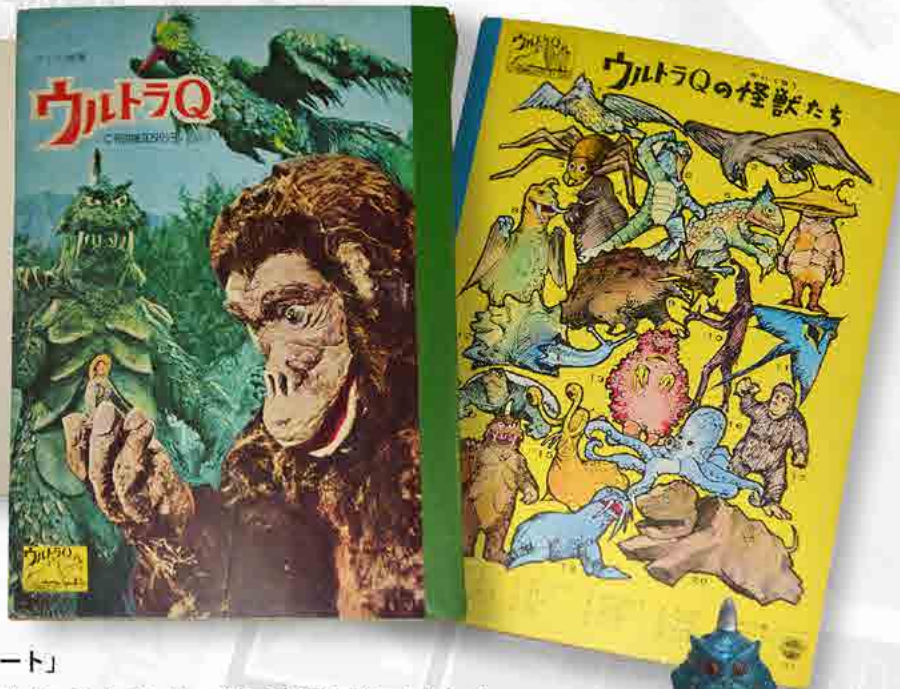
昭和天皇御在位50年記念・裏

ウルトラQノート グロー・リトラ・ゴメス編

第一話・第二話の怪獣が登場している「ウルトラQノート」

四冊目、最後の「ウルトラQノート」。表紙デザインのメインは、第二話のただ巨大化した猿の「グロー」、サブを固めるのは第一話で登場した「ゴメスとリトラ」。「グロー」に関しては言うこともない（笑）、甲状腺ホルモンのバランスが崩れ巨大化した設定だった。第一話登場の「ゴメス」はどう見ても「ゴジラ」にツノとヒゲを付けた怪獣。着ぐるみの使い回しをしていたんだろうか？ 今、考えればサスティナブルとでも言えはいいのだろうか。

「ウルトラQノート」が今回で最後なので、全二七話中で生物が「ただの巨大化」しただけの怪獣を数えてみた（暇なのかよ・笑）。裏表紙を参考にして数えたら、なんと10体もいる・・・、伝説の空想科学テレビ番組なのに。



花の都大東京編

パンダが来日、千葉の親戚の家に行くが・・・

「いやげ物」キーホルダーの6回目です、先日「X」で「お土産キーホルダー友の会」さまより「いやげ物・キーホルダー」いじりの許しを得ました（笑）。今回も張り切っていじらせていただきます。

昭和47年、東京・上野動物園に珍獣「ジャイアント・パンダ」が来日した翌年、千葉県に住む親戚を訪ね親族一同で旅行した。「これは！ 上野動物園でパンダが観れる」と内心期待して旅支度をしたことを覚えている。

ところが！？ 千葉の叔父さんがとんでもない宣言をした！ それは「上野動物園」に行けるのは小学校高学年以上と理不尽な一族ルールを突きつけられたのだ。私たち低学年組は、奈落の底に突き落とされた亡者のように泣き喚くしかなかった・・・。泣きつかれ氣力を無くした低学年組が連れていかれたのは「東京タワー」、不貞腐れて眺めた「蠟人形」を覚えている。

「上野動物園」から帰ってきた中学生のお姉ちゃんが、拗ねていた私に「お土産」と言ってくれた「パンダ」のキーホルダー。「いらないよ」と言いかけた時に、横から叔父さんが「これもあげよ」と差し出した「西郷さん像」のキーホルダー。「は～あ」本当にいらね～んだよ！！ 分かってもらえないこの気持ちにふて寝した思い出がある。



東京観光・表



東京観光・裏



「モンチッチ」のスタンダードは
コゲ茶色の男の子、この子は女の
子の「モンチッチちゃん」。その
名前、本当ですか？



このミクロマン、調べたところ
「M-005 オルガ 後期強化スーツ3」
で言うのだそうです。
きっと当時の子供たちは、
こんなポーズをさせて遊んだんだろうね！

昭和キャラ 男子・女子おもちゃ モンチッチ・ミクロマン編

昭和男子・女子たちが手軽にお小遣いで買えた～、おもちゃたち！

昭和50年代の小学校女子に絶大な人気を誇った「モンチッチ」！ 小学校前の文房具屋さんで「ファンシーグッズ」として、お手軽値段で売られていたのを覚えている。この「モンチッチ」、サルだと思っていたのだから聞いたところ「猿に似た妖精の生き物」だそうだ・・・知らなかったな。

「モンチッチ」は1975年にヨーロッパ・ドイツ語圏を中心に輸出を始め、そこからフランス、その他のヨーロッパ諸国、そして太平洋を越えてアメリカまで進出したのです！！ その結果、1980年代には世界的な人気キャラクターになったって、すごい・・・今見ても可愛いもんね～。

そして男子に人気があったのは「小さな巨人ミクロマン！」、おもちゃ屋さんで販売されていた。一体450円と、おもちゃ屋さんではとても安価な商品だけど、これがなかなかの強者！ 身長約10cmの体には14箇所も可動ができて自由自在にポーズがとれる優れもの。1974年に当時タカラ（現・タカラトミー）さんから販売開始、シリーズを重ね2000年まで続いたみたいです。で、この「ミクロマン」誰のだろうか？ これで遊んだ覚えがない・・・。

話が脱線するが、「昭和の小さな巨人」といえば、2月にお亡くなりになられた「昭和の牛若丸」ムッシュこと阪神タイガース初の日本一監督「吉田義男」さん、それに1月にメキシコで亡くなった「空飛ぶ小さな巨人」ことレスラーの「グラン浜田」さんが頭に浮かぶ。昭和ですね・・・合掌。

昭和歌謡のSP盤レコード 男性スター編

ついに出了、これぞ家のじゃまけモノぞ！！

さあ、出てきました「これぞ！ 本物本家のじゃまけモノ」が！ 別に石原裕次郎さんや北島三郎さんを「じゃまけモノ」と言ってるわけじゃないのですよ。だって現在、家にレコードプレーヤーがないのですから、これだけの丸いプラ板なんですよ。じゃあ、捨てればいいのにね（笑）。もちろん、いつかは捨てるとして、疑問なのはいったいこのレコードを誰が買ったのか？

石原裕次郎さんの「映画主題歌篇 狂った果実から銀座の恋の物語まで・2」が1962年発売、サブちゃんの「俺らの唄さ」1964年発売されている。当時、家で下宿し花嫁修行をしていた親戚のお姉ちゃんに聞いてみても分からない。その上、「その当時、LP版を聴けるようなステレオあったかな？」とも言っている。

謎の昭和ビックスターのレコード、捨てる前に一度だけ聞いてみたい気もする（笑）。



裏面に全13曲の歌詞
が載っている、これ
が「ベラジャケ」と
言うやつなんですね。

石原裕次郎・映画主題歌篇
狂った果実から銀座の恋の物語まで・2
販売元 テイチクレコード
販売年 1962年 定価 1,000円



北島三郎・俺らの唄さ
販売元 日本クラウン 販売年 1964年 定価 1,500円

タイトルを見ているとサブちゃんらしく「キッパリ男らしさ」を感じますね。「山男の唄」も歌っていたんだ、知らなかった。



開催直後にきた親戚が、次に来る親戚のために置いて行った
「日本万国博覧会・公式ガイドブック」定価300円。

「EXPO 1970 日本万国博覧会」グッズ

あの万博から55年、再び大阪で始まる「EXPO 2025」

4月13日「EXPO 2025 大阪・関西万国博覧会」開催を記念して、今回の「家のじゃまけモノ」は「1970年のこんには～♪」こそ「EXPO 1970 日本万国博覧会」グッズです。

昭和45年の賑やかさは今でも覚えている、週末が近づけばいつも家には親戚がいた。そう、どここのうちも（関西在住だと）そうだと思うが、田舎から親戚が万博を見にきて家に泊まる。昔はホテルなどに泊まらず親戚・親類の家に泊まらせてもらうものが常だった、ホテルは高額で上流階級が利用するのとされていたから（我が一族では・笑）。

そして親戚が来る度、「EXPO 1970」土産が家に増えていく・・・。それも、お小遣いを兼ねた普通に流通していた「万博記念硬貨」ばかり。使うのに躊躇してしまう100円硬貨、これこそ「家のじゃまけモノ」だ～！！



「EXPO 1970 バッチ・太陽の塔」。
これは自分自身が行った時にもら
ったバッチだったと思う。



表面



裏面

10枚も残っていた「日本万国博覧会記念100円硬貨」。お金だから「じゃまけモノ」と言うのは失礼なのだけど、10枚もあると・・・。硬貨の表面は「葛飾北斎」の「赤富士」、裏面は地球を背景に博覧会のシンボルマーク。

ソノひヨリ

Avoid the crowds and head to a quiet flower garden

2025

May. 3 day

第三七話 大阪府河内長野市

『大型連休、人混みを避け静かな花の園へ』

大型連休の朝出をくれ、本日どうする！？

大型連休中は、どうしても外に出るのが億劫になる、どこに行っても人、人、人！でも、このままだと何もしないで、無闇に無駄な時間を過ごすのもイヤだ。「どうするか？」と考えながら、遅い朝食（即ちブランチ）を食べに向かった。向かうのは最近話題のカフェ「SULK（サルク） GREEN CAFE」。ここはオリジナル家具やインテリア雑貨を展示・受注販売、超レア物の観葉植物や生花・ドライフラワーを販売している複合型カフェ。立地的には駅から離れているのが難点だけど、車なら幹線道路沿いに店舗があるので便利だ、おまけに駐車場は広く停めやすい。休日の朝を静かに過ごすにはもってこいのカフェです。



SULK GREEN CAFE SAKAIの外観、併設しているボタニカルコーナー

店内は連休の朝、お客もちらほらだから、席も自由に選べる。気に入った席に座り、メニューを拝見！ 土日祝のみ限定「イングリッシュ・ブレックファースト」が圧倒的に魅力的だったが、ここはブランチを兼ねたく「ほうれん草のスパ



看板を見つけ早々に仔ヤギを見に行く。

見頃だった、花の王と花の女王、咲き乱れ！！

かわいい仔ヤギ「はん吉」とお別れをして、いろんな花を愛でる散策に出発します。ゲートより時計回りに進むことにします。歩くにつく、この時期に見頃（四月中旬～五月中旬）な「ボタン・シャクヤク園」が現れます。この「ボタン・シャクヤク園」には、日本はもちろん、中国、欧米の貴重な品種が約一六〇品種も栽培されています。色とりどりで花弁の形も多様なボタン・シャクヤクの華やかさは、さすが「百花の王」といわれるだけあります。

「ボタン・シャクヤク」を堪能した後は、少し坂がある「遊歩道」へ。この「遊歩道」は、園内を見下ろせる山道の散策路で延長約五〇〇mあり、ちよつとい運動にもなります（登山じゃないので安心してください）。ちよつと前ならツツジなどが咲いていたはず、ちよつと遅かったようです。でも、森林浴を楽しみながら鳥の鳴き声に癒されました。ただ、この日は天気が良く暑く後半にはバテ気味です（日頃の運動不足を痛感）。これからの季節は水分を持ち歩いて散策してください。

坂を降り切れば「遊歩道」が終わり、園内のメインロードに合流すると、ガラスのピラミッドが現れる！それは「花の文化園」のランドマーク的建造物の「大温室」でした。中の温室には洋ラン類や熱帯植物、サボテン、多肉植物を展示していて迫力のある滝まで流れています。どこからか熱帯の野鳥の声が聞こえてきそうな空間ですよ。そして、歩き疲れたタイミングにドンビシャの「はなぶんカフェ」が併設しています。ちよつと休憩です。

イスカレー」と「アيسコーヒー」を選択。カレーは本格的なスパイスカレーで、休みボケの体には良いパンチになりました！ ゆっくり食事をとった後には、ボタニカルコーナーで珍しい多肉植物や観葉植物を鑑賞中に聞いた！「おっ、そっ、だ。あそこに行こう！」、怠惰な休日にならないように。



いただいた「ほうれん草のスパイスカレー」

奥河内にある府民の憩いの場「はなぶん」！？へ

ボタニカルコーナーで聞いた場所は、カフェから車で約三分、河内長野市にある「大坂府立・花の文化園」、略して「はなぶん」と呼ばれている植物園。ここ「はなぶん」は、大阪府保有の約一〇ヘクタールの土地を活用して一九九〇年に開催された「国際花と緑の博覧会（通称・花博）」の理念（一部の展示物）を継承し開園した施設なのです。

先日開幕した「関西・大阪万博」とは万博つながりだな、などどくだらない事を考えている間に到着した。駐車場はガラ空きで止め放題（喜）！ 大型連休中とは思えないゆつたりさだ。「石川」を挟んで向かいには「道の駅・奥河内くろまろの郷」がある、こちらの駐車場は長蛇の列！！ 来園の際は「はなぶん」の駐車場がオススメですよ。

ゲート近くの看板に「仔ヤギ誕生」と書かれていた、これは早々に見にいくなりたい向かった。ゲートから近かったことも理由の一つなんだけど（笑）。なんだか「やまんなかタヌキ」が連載している「モフモフ」みたいな展開だ。ゲートより二三分で展望デッキの近くに「ヤギのおうち」があった。このおうちで暮らすヤギの「はな子」と「ぶん太」の間に、今年四月待望の赤ちゃんが誕生。この時に仔ヤギには名前がなく、名前公募中でしたが、この原稿を書いている途中で決定したようです。その名前は「はん吉」だそうです、名前の由来は両親から一文字づつもらい、「吉」の字は名前の候補で多く使われていたらしく「はん吉」になったんです。ちよつと安易だなと思うも、そんなところに大阪らしさを感じてしまう。



ガラスのピラミッド「大温室」
その中は「大温室」「はなぶんカフェ」がある



シャクヤクの花言葉・その1「誠実」「威厳」



シャクヤクの花言葉・その2「幸せな結婚」



シャクヤクの花言葉・その4「怒り」「憤怒」・・・



シャクヤクの花言葉・その4「晴れらしい」「はにかみ」



キンボウゲ科オキナグサ属で絶滅危惧種の「オキナグサ（鈴草）」



クレマチスの花言葉・その1「精神の美」



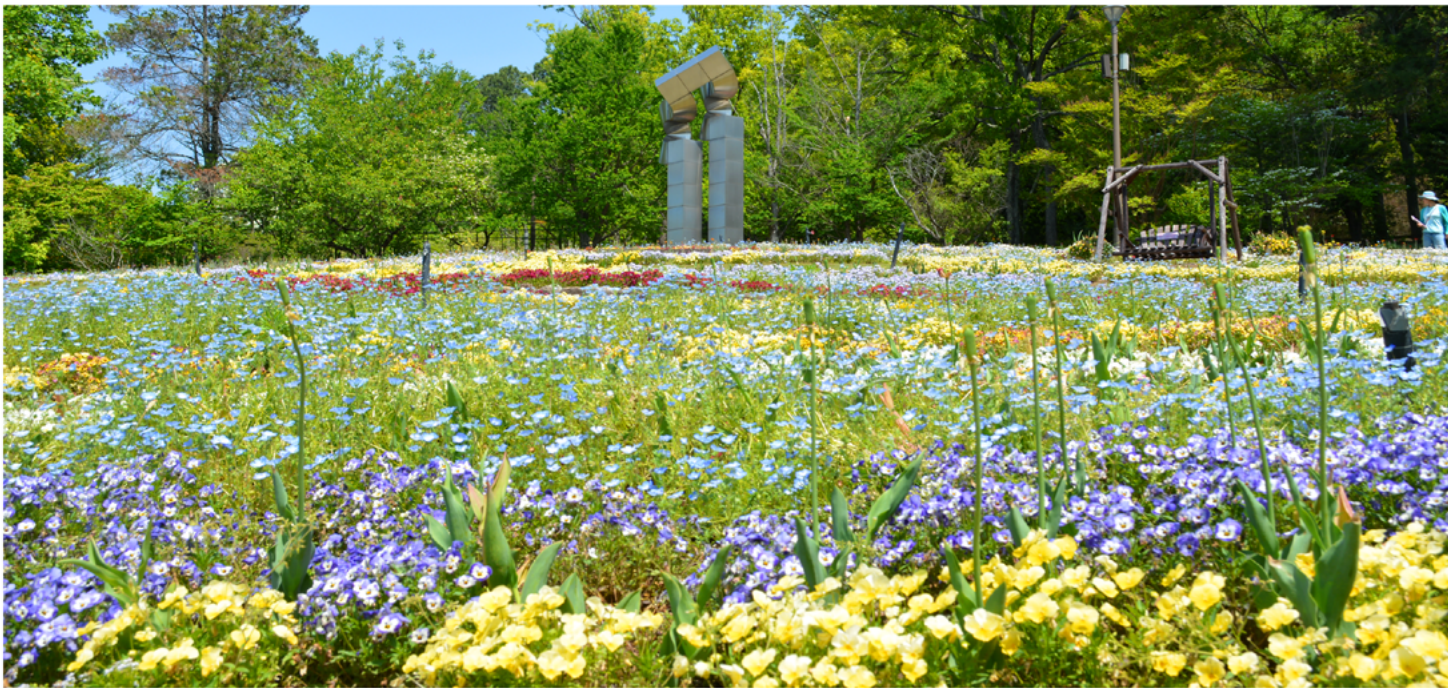
クレマチスの花言葉・その2「旅人の喜び」、本誌らしい〜！



クレマチスの花言葉・その3「策略」「たくらみ」・・・

「はなぶんカフェ」でしばし休憩をとり、もう一つ、今が見頃（四月下旬～六月上旬）の「つる性植物の女王」と言われるクレマチスが咲き乱れる「クレマチス園」へ。この「クレマチス園」には、約二〇〇品種・四五〇株を栽培していて、鉢植えだけでなく「アーチ」や「パーゴラ（藤棚）」などに絡ませて多種多様な形状で鑑賞ができます。まるで本場のイングリッシュ・ガーデンに迷い込んだようです（これ、言い過ぎか・笑）

後で知ったのですが、この「クレマチス（キンボウゲ科・センニンソウ属）」は、「茎」や「葉」の樹液の成分に毒があり、皮膚に付くとかぶれたりすることがあるだって！ 知らなかったです！ 「美しい物には毒がある」て本当ですね。



入園料・大人580円を支払い入園。ゲートをくぐれば花々が咲き乱れる「大花壇」。

ソノひびヨリ

次号予告

(2025年7月~9月)

ソノひびヨリ

第三八話 新潟県佐渡島

父子の思い届かず、討幕に敗れ佐渡の地へ



世界拳闘紀行 第一六話

日本酒紀行 一合一肴

一二六献目から



ホヤ瓶詰め
明石産タコのネギぽん酢

※記事内容は一部変更になる可能性があります

滋賀県・荒ぶる神が住んでいた「伊吹山」



還曆前、写真家の「写して候・寄って候」

天皇御陵踏破の旅

番外編

昭和ガラクタノスタルジ—
家のじゃまけモノ

キーホルダー・
コイン・
ソノシートその他



編集旅後記

先月四月二三日に開会した「EXPO'86」大阪・関西万国博覧会へ、入場者数も順調に伸び当初の日々目標も達成できそうです。(良かった!) それに伴い国内旅行の需要も伸びているようです。インバウンド客が増え、コロナ禍で苦しんだ観光業に希望の光が当たり出した感じがしています。ただ、海外旅行に目を向ければ相変わらずの不安で、海外ツアー料金の上昇が、方々・各旅行代理店は努力しているのですが、庶民には高額の花です。そこでタメをしのぐべく、先日の揃ったインドでの航機機事故、口体みの海外旅行にも振りを真面に受けそう・・・その振りは海外業界に留まります。ボーイング社・BR700リーマンライナーの部品提供をしている国内産業にも影響があるはず。なんとついても、BR700の部品・機体製造の約80%を国内企業が担当している「単国本製」の旅機機なのです。国内企業の努力により機体軽量化を実現でき、燃費の良し現在のニーズにあった旅機機・・・まさに世界に「リーマンライナー」なのに。BR700はまず世界に「以上の航機機」・・・機以上が連続、また未納の機材が丸〇機近くあるとされている。残念です。ただ何よりも、この事故で亡くなった方々に、そのご家族に心より哀悼の意を表しますとともに、ご哀悼を心よりお祈り申し上げます。

次号の予告を、「天皇御臨全踏破の旅」は「昔丸編」として神話の世界へ誘われ旅を続けていきます。赤木翁は「少しベスタウン風味だが、頑張る」と言っています。旅行記では「佐藤高見」を掲載予定です(本書のみ)。笑。「昭和ガラクタノス」ホルダー・家のしやまけモノ」では、「お土産キホルダー友の会」さまより「それぞれのお土産キホルダー」にまつわる何気ないエピソードが、最近どくに胸にくつとくるんですよ(笑)。次回も楽しみみにしていただきます。とお褒めの言葉をいただきました。恐縮ながら「キホルダーいじり(笑)」をこれからだとも張り切っておこなっていくみたいです。

「日本酒紀行・合・肴」は、この梅雨の差し暑さに負けて、あゝも変わらずよく愛す酒を飲みながら。後・七景で日本制覇(?!?)と分らないことを口走っている。今回は都合でより体裁だった「世界楽園紀行」、プライベトが忙いようです。次号は必ずお願いしますよ(笑)。そして、ショッキングなニュースで目を黒させている「やまんなかタタキ」さん。話をもう、本からパンダが、パンダキ・さんの繰り返し、のままで中国に追いかけていくかもしれません。とにかく、次号もよろしく願っています。編集部スタッフ 同 喜さに負けず頑張りますので

雜集部一



小柄でクリクリ目ん玉が愛らしいモリブクロウ

この公イベントとにかく面白い！それは「福ちゃん」の飼育員（学芸員）さんの話が！「福ちゃん」がここに来るまで東京でバイトをしていた話や、森の賢者と言われるフクロウは意外にも「バカ」なことなど、笑い交え上手く話してくれるのです。あまり書くけどネタバレになるので現地でお楽しみくださいー！！

話が終わるとイベントの目玉、「福ちゃんの飛行練習」を間近で見る事ができるのです。おまけに写真撮影もOK（フラッシュは使用禁止）。フクロウが羽音をたてず、静かに飛行する姿を近くで見るとはまずまずですよ、これ必見です。（福ちゃんの体調により公開見合わせの場合もあります）

そうこうしている間に三時前、「イベント広場」にある「休憩室」に急がなければ！ 何があるかと言えは、もう一人（二羽）？ 「はなぶん」の「新人社員」の紹介があるようです！ それは「モリフクロウ・福ちゃん」。去年の九月に来園して、環境にも慣れてきたので「二回、この「休憩室」で披露目していることを知り向かったのです。この公開イベント、とに



音を立てず「す〜」と飛んでいく。なかなかの夜のハンター!

「イベント広場」横「休憩室」で
「花の文化園」の新社員紹介？

花を愛でて、動物も鑑賞でき充実した平日を過ごせたり何といっても人が少なく（園にとってはダメなんだけど・苦笑）自分のペースで見て回れるのが嬉しい。これからの梅雨の時期にも「バラ園（五月中旬～六月中旬）・アジサイ園（六月中旬～六月下旬）」と見頃の花がたくさん咲いてます、人混みに疲れたら「はなぶん」に來園してみてください！「ほっ」と深呼吸ができます。では、晩御飯の食材買いに「道の駅・奥河内くろまろの郷」に行ってください！。余りにも遅かったので、売り切ればかり・・・早めがオススメです。



「はなぶん」のゲート



去年の梅雨時の「アジサイ園」です。約140品種920株もあるんです。満員なら充分撮影もできます。



道を渡れば、「道の駅・唐河内くろまろの郷」ゆるキャラ「くろまろくん」が垂っているポストが待ってます！